

自己評価報告書

平成 2011 年 5 月 20 日現在

機関番号：34404

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20530187

研究課題名（和文） 産業別生産性の日中韓米水準比較と上昇率比較に関する研究

研究課題名（英文） A Study on Comparison of Productivity Level and Productivity Growth among Japan, China, South Korea, and US

研究代表者 泉 弘志 (IZUMI HIROSHI)
大阪経済大学・経済学部・教授

研究者番号：70066835

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学・経済統計学

キーワード：生産性、国際比較、購買力平価、産業連関表、中国、韓国

1. 研究計画の概要

経済成長し世界経済における比重を増し多くの人々から注目をあびている中国経済に関してその産業別生産性の水準と上昇率を日本、韓国およびアメリカのそれらと比較し研究する。

2. 研究の進捗状況

(1) 産業別生産性水準の国際比較をする際、データの整備に最も困難をとまなうのは産業別購買力平価に関してである。2008年度～2010年度の3年間の研究で最も力を注いだのは2005年日中韓産業別購買力平価の推計であった。この推計には、日本データ、中国データ、韓国データを詳細に突き合わせるが必要であったが、日中両語に堪能な李潔氏（埼玉大学教授）、戴艶娟氏（広東外語外貿大学准教授）、李複屏氏（龍谷大学准教授）、日韓両語に堪能な梁炫玉氏（大阪経済大学非常勤講師）、日中韓3ヶ国語に堪能な金継紅氏（北京師範大学准教授）、金丹氏（東京工業大学研究員）等の協力を得て進めることができた。また購買力平価の算式において、ICP（国際比較プログラム）等で使用されているEKS法、GK法だけでなく私独自の方法である全労働法という方法に基づく算式も工夫し使用した。2011年5月現在2005年日中韓産業別購買力平価の推計はほぼ完成しており、2011年度はこのデータと日中韓の産業連関表を使用して日中韓産業別生産性水準の比較を行い、秋にはその結果を公表する計画である。

(2) 産業別生産性上昇率の国際比較に関しては、中国1987-2002年、日本1960-2000年、韓国1975-2000年の産業別生産性の上昇率を計算し比較した研究を一応完成し、2009年に

ブラジル・サンパウロで開催された国際産業連関分析学会で”Productivity Growth by Industry in Japan, South Korea and China”というテーマで報告した。現在は、この研究成果にその後新たに公表された中国の時系列産業連関表・雇用統計、韓国の1995-2000-2005時系列産業連関表や日本の1995-2000-2005時系列産業連関表等々のデータを接合し、一層長期の日中韓産業別生産性上昇率の比較研究を進めている。

3. 現在までの達成度

③やや遅れている。

2005年日中韓産業別購買力平価の推計が予想以上に煩瑣な膨大な作業を必要とし、多くの研究者の協力を得なければならなかったからである。

4. 今後の研究の推進方策

この研究計画の中で最も困難な2005年日中韓産業別購買力平価の推計が昨年度にほぼ完成したので、当初の計画どおり今年も気をぬかず頑張れば相当の成果を得ることができると考えている。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計4件）

①泉弘志、投下労働量計算と生産の境界について、大阪経大論集、第6巻第2号、7～23、2009、査読無

②泉弘志、剰余価値率の実証研究を巡る若干の論点、大阪経大論集、第60巻第2号、7～22、2009、査読無

③泉弘志、購買力平価に関する若干の論点、大阪経大論集、第60巻第1号、1～16、2009、査読無

④泉弘志、現代日本の剰余価値率と利潤率、経済、No.160、2009、137-153、査読無

〔学会発表〕(計12件)

①泉弘志, 梁炫玉, 戴艶娟, 金継紅, 金丹, 李潔, 李複屏, 2005年日中韓産業別購買力平価と実質値産業連関表、環太平洋産業連関分析学会、2010年10月31日、長崎大学

②DAI, Yan-Juan, LI, Jie, LI, Fu-Ping and IZUMI, Hiroshi、Purchasing Power Parities and Multilateral Comparison of Input-Output Tables among China, Japan and South、日本中国統計学シンポジウム、2010年10月17日、中国成都西南財経大学

③泉弘志, 梁炫玉、A comparison of productivity level by industry between Japan and South Korea、国際統計学会、2009年8月20日、南アフリカ・ダーバン ICC

④泉弘志, 戴艶娟、Productivity Growth by Industry in Japan, South Korea and China、国際産業連関学会、2009年7月16日、ブラジル・サンパウロ大学

⑤李潔, 泉弘志、日中韓3ヶ国生産性上昇率の国際比較、日中統計学国際会議、2008年9月15日、中国西安唐城賓館等々